

問1 現代の金融生活において重要とされる、クレジットカードの「計画的な支出管理」について説明したものととして、正しいものはどれですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 将来の支払いに困ることがないよう、自身の収入や他の支出予定を照らし合わせて、無理のない範囲で利用すること | 2. カード会社が代金を立て替えてくれる利便性を最大限に活用し、収入の多寡にかかわらず欲しいものをすべて購入すること | 3. 支払いを後回しにできる利点を生かして、具体的な返済計画を立てることなく、常に利用限度額いっぱいまで利用すること | 4. 決済の仕組み上、商品を受け取った瞬間に現金で支払うのと同じ状態になるため、将来の収入予定を考慮する必要はない |
|---|--|--|---|

問2 日本銀行が、景気や物価の安定を図るために金融機関を相手に国債などを売買し、世の中の通貨量を調節する仕組みを何といいますか。（2016年 鳥取公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|------------|-----------|----------|
| 1. 公開市場操作 | 2. 支払準備率操作 | 3. 預金保険制度 | 4. 財政投融资 |
|-----------|------------|-----------|----------|

問3 日本の中央銀行である日本銀行が果たす役割について、その業務内容を正しく説明しているものを選んでください。（2023年 奈良公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|------------------------------------|
| 1. 日本で唯一、紙幣（日本銀行券）を発行することができる「発券銀行」としての役割 | 2. 家計の預金を預かったり、一般企業に対して事業資金の貸し出しを行ったりする役割 | 3. 政府の指示に基づいて、毎年の国の予算案を作成し、税金の徴収を直接行う役割 | 4. 輸出入の制限や関税の決定を行い、海外との貿易を直接管理する役割 |
|---|---|---|------------------------------------|

問4 日本銀行が一般の銀行に対して国債を売却し、市場の資金を引き上げる政策を実施する「背景」と「目的」について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 景気が過熱している際、通貨量を減らすことで物価の上昇を抑え、景気を安定させるため | 2. 景気が後退している際、通貨量を増やすことで企業の投資を促し、景気を刺激するため | 3. 円高を是正するために、外国為替市場において大量の日本円を供給し、通貨価値を下げるため | 4. 政府の財源が不足している際、市場から一時的に資金を借り入れることで予算を確保するため |
|---|--|---|---|

問5 好景気（好況）の際には、消費者の購買意欲が高まって商品の売れ行きが良くなり、企業の生産活動がより活発になります。このような経済状況において、物価が継続的に上昇し続ける現象を何といいますか。（2026年 福岡公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------|------------|--------------|-------|
| 1. インフレーション | 2. デフレーション | 3. スタグフレーション | 4. 円高 |
|-------------|------------|--------------|-------|

問6 日本において「中央銀行」としての役割を担っているのは日本銀行です。日本銀行は、日本の紙幣（日本銀行券）を発行することができる唯一の機関ですが、この役割を何と呼びますか。（2017年 静岡公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|----------|----------|---------|
| 1. 発券銀行 | 2. 銀行の銀行 | 3. 政府の銀行 | 4. 市中銀行 |
|---------|----------|----------|---------|

問7 不景気の際に、日本銀行が景気を刺激して回復を図るために行う「公開市場操作」について述べた次の文の空欄にあてはまる用語の組み合わせを選びなさい。「日本銀行が民間の銀行から国債を（ ① ）ことで、市場に流通する通貨量を増やし、金利を下げた企業が資金を借りやすくする。この操作を（ ② ）という。」（2019年 鳥取公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------|---------------------|---------------------|------------------|
| 1. ①：買い入れ ②：買いオペレーション | 2. ①：売却 ②：売りオペレーション | 3. ①：買い入れ ②：預金準備率操作 | 4. ①：売却 ②：公定歩合操作 |
|-----------------------|---------------------|---------------------|------------------|

問8 景気が過熱し、物価が上がり続けるインフレーションの懸念があるとき、日本銀行は景気を落ち着かせるための金融政策を行います。この際、日本銀行が実施する「売りオペレーション」の内容と、それによって期待される市場の変化として正しいものはどれですか。（2022年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場に出回る通貨量を減らすことで、景気を抑制する。 | 2. 日本銀行が民間銀行から国債を買い、市場に出回る通貨量を増やすことで、景気を刺激する。 | 3. 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場に出回る通貨量を減らすことで、消費を活性化させる。 | 4. 日本銀行が民間銀行から国債を買い、市場に出回る通貨量を減らすことで、物価の下落を防ぐ。 |
|--|---|--|--|

問9 景気が過熱し、物価が上がりすぎるおそれがある好況期において、日本銀行が世の中の通貨量を調節するために行う操作とその仕組みについて、正しい説明はどれか。（2023年 長崎公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 一般の銀行に対して国債を売り、市場の資金を吸い上げることによって、通貨量を減少させる。 | 2. 一般の銀行から国債を買い取り、市場に資金を供給することで、通貨量を増加させる。 | 3. 政府が公共事業の支出を増やすことで、社会全体の需要を刺激し、景気をさらに活性化させる。 | 4. 所得税の税率を引き下げることによって、個人の消費支出を増やし、企業の生産活動を促進する。 |
|--|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 将来の支払いに困ることがないように、自身の収入や他の支出予定を照らし合わせて、無理のない範囲で利用すること	クレジットカードの利用は、実質的にはカード会社からの「借金」と同じ状態です。計画的な支出管理とは、単にカードを使うのではなく、将来訪れる支払い（引き落とし）のタイミングで、自分の収入から無理なくその代金を捻出できるかどうかを事前に計算し、管理することを指します。これは、健全な消費生活を維持するための基本的なスキルです。
問2	答え 1 公開市場操作	日本銀行が市場を通じて国債などを売買し、通貨量をコントロールする政策を公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）と呼びます。これは現在の日本における金融政策の中心的な手段です。景気が過熱しているときは国債を売って通貨を回収し（売りオペレーション）、不況のときは国債を買って通貨を供給する（買いオペレーション）ことで、物価と景気の安定を目指します。
問3	答え 1 日本で唯一、紙幣（日本銀行券）を発行することができる「発券銀行」としての役割	日本銀行は、日本で唯一の「発券銀行」として、日本銀行券（紙幣）の発行・管理を行っています。これに加え、民間の金融機関から預金を受け入れたり貸し出しを行ったりする「銀行の銀行」としての役割や、国庫金の出し入れや公債の発行など、国の資金を管理する「政府の銀行」としての役割を担っています。一般の個人や企業が日本銀行に口座を作り、預金することはできません。
問4	答え 1 景気が過熱している際、通貨量を減らすことで物価の上昇を抑え、景気を安定させるため	好況時には、人々の買い物が盛んになり、通貨が市場に溢れて物価が急騰するリスクがあります。日本銀行は国債の売却を通じて、銀行が企業や個人に貸し出せる資金を減らし、経済活動を適度に落ち着かせることで、国民生活に悪影響を及ぼす過度な物価高騰を防ぐ役割を担っています。
問5	答え 1 インフレーション	好景気のときには、モノやサービスに対する需要が供給を上回りやすくなるため、物価が上がり続けます。この現象をインフレーションと呼びます。これとは逆に、不景気で物価が下がり続ける状態はデフレーションと呼ばれます。
問6	答え 1 発券銀行	日本銀行は、一国の金融システムの中心となる中央銀行です。日本銀行券を独占的に発行する「発券銀行」としての役割のほか、一般の銀行に対して資金の貸付や預金の受け入れを行う「銀行の銀行」、政府の資金を管理する「政府の銀行」という3つの大きな役割を果たしています。
問7	答え 1 ①：買い入れ ②：買いオペレーション	日本銀行が市場の通貨量を調節する政策を公開市場操作といいます。景気が悪いときには、日本銀行が銀行の持つ国債を買い取ることで、その代金が民間銀行へと渡り、世の中に出回る通貨（マネーストック）が増加します。これにより、資金の供給が需要を上回って金利が低下し、企業が設備投資などのための資金を借りやすくなることで景気を刺激します。
問8	答え 1 日本銀行が民間銀行に国債を売り、市場に出回る通貨量を減らすことで、景気を抑制する。	好景気でインフレーションが懸念される場合、日本銀行は保有する国債を民間銀行に売却します。これを売りオペレーションと呼びます。民間銀行が国債を購入する代金として日本銀行にお金を支払うため、市場に出回る通貨量が減少し、結果として企業の投資や個人の消費が抑えられ、物価の上昇が抑制されます。
問9	答え 1 一般の銀行に対して国債を売り、市場の資金を吸い上げることで、通貨量を減少させる。	景気が過熱している時期には、日本銀行は保有する国債を一般の銀行に売却します。これにより、民間銀行が支払いに充てた資金が日本銀行へ回収されるため、世の中に出回る通貨量が減少し、過度なインフレや景気の過熱を抑える働きが生じます。対照的に、国債を買い取る操作は不況期に行われるものです。また、公共事業の増減や減税は政府が行う「財政政策」であり、日本銀行が行う「金融政策」とは区別されます。